



環境配慮型店舗  
エコにこショップ  
仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会

# 環境活動レポート 3R事例集 Vol.2



環境配慮型事業所  
エコにこオフィス  
仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会

仙台市では、環境負荷が低減される循環型社会の構築をめざし、「100万人のごみ減量大作戦」を展開しております。その一環として、ごみ減量・リサイクルなど環境に配慮した事業活動を行っている店舗・事業所を「エコにこショップ」「エコにこオフィス」として認定し、支援しています。

この事例集は、認定事業所の中から特徴的、先進的な活動を取り上げて紹介したものです。ちょっとした工夫で、みなさんの事業所でもすぐに実行できるような事例を集めてみました。ぜひ、ご活用ください。



## ゼロエミッションへ向けて、ごみ分別は分かりやすく

～ごみ減量の決め手は分かりやすい分別の工夫～

新日本石油精製(株)  
【製造業】



東北唯一の製油所である新日本石油精製(株)では、2004年にごみの最終処分率を1%以下にする取り組みが始まり、2005年にゼロエミッションを達成しました。

最初の取り組みは、複数の市町村から通勤する社員も間違いなく分別ができるようにと、写真や例示を多くした分かりやすい表示物を作成しました。その結果、間違いはほとんどなくなりました。

また、社員食堂から出る生ごみを生ごみ処理機で1/4ほどに減量しているほか、スチール缶とアルミ缶は近隣の障害者福祉施設に寄付して喜ばれています。



▲分かりやすい表示



◀生ごみ処理機



2007年以降は、さらにハードルをあげて、最終処分率を0.5%以下にするという目標をたて、ゼロエミッション・プラスに向けた前進を続けています。



## 環境にとって本当にいいものを勧めたい

～“環境にいいもの”をお客様がすぐに選べるのが大切～

(株)文盛堂  
【小売業】



創業60年を迎える文具専門店文盛堂では、手作りの「おすすめエコ」シールをグリーン商品など環境にいい商品のそばに貼って、お客様が一目で分かるようにしたり、ペンの替え芯は本体の隣に置いて、迷わない工夫もしています。

また、インクカートリッジやテープカートリッジの店頭回収箱は、商品のそばに置き、回収されたテープカートリッジのリサイクル工程が分かる資料も掲示しています。



エコマークに頼るだけでなく、本当に環境にいいものを考え、見定めた上で、自信を持ってお客様に提供しています。



▲替え芯はすぐそばに



▲「おすすめエコ」表示



## 社員一丸となった具体的な取り組みでごみ減量達成

～緻密なデータの積み上げと全社員のやる気が勝因～

マイクロプラスチックス(株)  
【製造業】



精密成型品加工を手がけるマイクロプラスチックス(株)は、2007年環境方針を策定し、「廃プラの削減」「ごみの減量」などの4つのワーキンググループを設置しました。社員はみないずれかのグループに属し、削減の方法などの意見をだしあい、具体的な行動に移しています。

エアコンの稼働時間や裏紙の使用枚数などは、全員がその都度記録し、月ごとにデータ化することで、取り組みの成果がよくわかり、改善点も見えてきます。その結果、2007年度の減量目標3.3%はすでに達成しました。廃プラも可能な限りリサイクルして製品化に努めています。



◀裏紙使用枚数等実績簿



ワーキンググループごとの進捗状況▶



**トップからの強制ではなく、社員の自主的な取り組みが功を奏しています。一人ひとりの力の結集が大きな力になっていきます。**



## 老舗の看板を大切にしながら、簡易包装の実現

～“ごみは出さない、持ち込まない”は当たり前前の精神～

(株)白松がモナカ本舗  
【小売業】



贈答品として用いられることも多い白松がモナカ。5年ほど前から環境に配慮して、サービス箱を柄物に変えました。包装しなくても見た目がいいので、お客様にも好評です。

工場からの商品の搬送にはずっと昔から「ばんじゅう」を使用しています。商品の型崩れが防げるのと、段ボールなどのごみがでません。

手洗い石鹸も詰め替え商品を使う、余計な資材は持たず必要な分をその都度調達するなど、特に意識せずにごみ減量に取り組んでいます。



▲柄物サービス箱



「ばんじゅう」▶



**長年の経験と“ごみはださない、持ち込まないのが当たり前”という社風が“ごみ減量”につながっています。**



## 社員一人ひとりの声やアイデアがエコの取り組みを後押し

～社員の生の声そのまま活かされる「ムダどり運動」～

ヨコハマタイヤ東北販売(株)  
本社/中央営業所【卸売業】



親会社の横浜ゴムが制定した環境方針に沿って、ヨコハマタイヤ東北販売は昨年よりエコの取り組みを開始しました。

まず、社員が社内のあらゆるムダを発見し、その改善を提案する「ムダどり運動」を実施。提案されたアイデアは社内の電子掲示板に掲載され、その課題は経営計画にも盛り込まれることから、社員の士気も高まっていくようです。社内に「環境改善委員会」を設置し、実行に移しています。

紙の削減のため事業所間の連絡には専用カバンを利用し、紙コップやペーパータオルも廃止しました。事務用品も共用箱利用でムダ改善。



◀宅配伝票をぶら下げた専用カバン



**営業所や販売店に直接出向き、コミュニケーションをとりながら意見や提案をもらっています。社員の声でごみ減量や業務改善のヒントです。**

あまった事務用品は共用箱へ▶



## お客様の分別リサイクルをサポートします

～“びん”だけでなく紙類までも回収・リサイクル～

(株)やまや(加茂店)  
【小売業】



やまやでは、毎月20日を「リサイクルデー」として、お客様の資源物の持込を奨励しています。びんだけでなく、缶やペットボトル、紙類も回収しています。昨年あたりから、持込みが増えてきました。

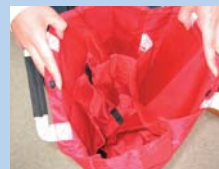
また、レジ袋削減にむけてお客様に袋の持参を呼びかけています。中が仕切られ、びんや缶も安定して収納できるオリジナルエコバッグも開発しました。独自の取り組みとして、オーストラリアのワイン業者と提携して、売上金の一部をトキの保護活動に充てています。



▲資源物の回収▲



**より多くの市民の方にやまやの取り組みを知ってもらい、上手に利用していただきたいです。店舗も地域貢献に取り組めます。**



◀オリジナルエコバッグ



## 安全・衛生・おいしさの追求へつながるごみ減量・リサイクル

～徹底したごみ減量・回収・分別でリサイクル率100%を目指す～

(株)こばやし  
【製造業】



弁当製造業としては東北で初めてISO14001を取得したこばやしでは、生ごみは水きり後たい肥に、廃食用油も燃料にリサイクルしています。  
取引先からの納品は通い箱を使用し、パンのミミは鳥のえさ用にまとめて、無償でお分けしています。ムダを省き、有効活用を目指します。  
会議用の弁当は、エコ容器を使用して回収しています。この容器は、使用後にコーティングをはがしてから粉碎し、新たな容器の材料の一部として使用する取組みをしています。そして、今後も、お客様の協力をいただきながら、一層のリサイクルをすすめていきます。



▲エコ容器を使用▶



◀廃棄物の種類ごとに分類された保管庫



**環境配慮の取組みは一人でするものではありません。この取組みをお客様や取引先に伝え、理解と協力を得ながら進めていきます。**



## コンビニだからこそ便利に、そして環境にも配慮を

～お客様の気づかないところで、さりげなくごみ減量～

(株)ファミリーマート  
(本町一丁目店)【小売業】



コンビニエンスストアでは初めてエコにこショップに認定されたファミリーマートでは、惣菜を調理した廃食用油を缶にためておき、ハンドソープにリサイクルして、お店で使用しています。  
弁当などの容器やレジ袋は軽量化、肉薄化して環境負荷を減らしているほか、無印良品とタイアップしてエコバックを作成し、レジ袋の削減にも取り組んでいます。環境配慮活動を「サービスの低下」と見るお客様もいて、一律の削減は難しいのですが、若いお客様ほどレジ袋を断る率が高いようです。



▲廃食用油からハンドソープ



**今だけでなく、将来的にもお客様にとって身近な存在であり続け、同時に、使命感を持って環境配慮や社会貢献活動にも取り組んでいきます。**



◀レジ袋削減へ



## 美容室でも3R。容器のムダを省いた詰め替えシャンプー

～環境を考え、薬剤は使い切る。容器は再利用する。～

(有)美容室アンジェリーナ  
【サービス業】



美容室アンジェリーナでは、美容室としては珍しくシャンプーの量り売りを行っています。1回目は容器ごとシャンプーを購入していただき、次回以降は容器だけを持参してもらいます。それにシャンプーを入れて販売。容器代が安くなり、ごみも出ないとお客様に好評です。  
また、チューブのものはチューブ絞り器を使って中身を出し切る、カラー剤は使い切った後、汚れをふき取ってから水で洗う、パーマ液は調合する際に、必要分だけつくり、足らなくなったらまたつくるなど、地道に、かつ、さりげなくごみを出さない取組みを進めています。



▲詰め替えシャンプーと容器



▲1回分に小分けにされたシャンプー



**社員は誰に強制されるでもなく自発的に、自然にごみ減量を進めています。一人の行動がみんなの行動へと広がっていくようです。**



## 環境とお財布にやさしい、お客様本位のエコを提案

～使えるものは修理で対応、製品のパーツも分別・リサイクル～

(株)坂本商会  
【小売業】



まちの電気屋さん坂本商会では、それぞれのお客様の生活様式にあった製品、経済的で環境にいい製品を使ってほしくて、グリーン購入を勧めています。配達や修理にも出向き、大切に使うための努力も惜しみません。  
また、商品販売においても包装することはほとんどなく、蛍光灯や乾電池類の店頭回収も行っています。お客様から引き取った製品も銅管やねじなどは、細かく分類し再利用したり、リサイクルにまわしています。手間はかかりますが、大切な資源という意識で抵抗感はありません。



▲グリーン商品表示



▲店頭回収



**できるだけ環境にいいものを大切に使うことと、捨てるときでも使えるものはしっかり使うことで、継続的にごみ減量・リサイクルに取り組んでいきます。**



◀銅管とカバを分別



## 取引先も読者も、みんなで環境負荷低減の取り組みを!

～部門の垣根を越えて、社員みんながごみ減量の責任者～

(株)宮城読売サービス・センター  
【広告業】



「読売Cha!」を発行している宮城読売サービス・センターでは、職場環境ガイドラインを定め、コピー用紙の削減や分別・リサイクルの推進などのテーマを設定しました。それぞれの実施項目や具体的方法を定め、その責任者には各部門の社員が交代であります。巡回指導や実績報告を行うことで、社員全員が当事者意識を持って、取り組むようになりました。

特に、紙の削減には力を入れています。社内文書は電子化を進めることで、紙の消費量がぐんと減りました。今後は、電子化のプロジェクトを設置して一層の紙削減に取り組むことにしています。

責任者をみんなで分担▶



◀電子化の推進



**社内だけでなく、取引先や「読売Cha!」の読者にも環境負荷の低減に向けた取り組みのすそめを発信していきます。**



## 食材はおいしく丸ごと使い切る

～まず、ごみを出さないことをこころがけて～

大観楼  
【飲食業】



長い歴史を誇る蒲焼と和食の店大観楼では、食材にこだわることで、調理の工夫で“食材を使い切る”ことを心がけています。食材を吟味すれば、皮も骨も全部おいしく食べられます。野菜は生ごみたい肥で育てた有機野菜を生産農家から直接買い付けます。

箸は、国産竹でつくったオリジナルの塗り箸を使用しています。先太の箸は、タレを含んだごはんもすくいやすいとお客様にも人気です。わりばしを使用した時は、洗浄後リサイクルプラザへ持ち込んだり、自分達で色を塗って漬物の盛り合わせの取り箸に再利用しています。



▲オリジナルの塗り箸



▲わりばしをリサイクルした塗り箸



**地域でもまだ分別・リサイクルが十分でないお店があるので、生ごみのたい肥化なども一緒に取り組んでいきたいと考えています。**



◀大根の皮も料理に大活躍

仙台市内の事業者のみなさまへ

申請  
無料

# エコにごショップ・エコにごオフィスを 募集します。

ごみ減量・リサイクルに取り組む環境にやさしい店舗「エコにごショップ」・事業所「エコにごオフィス」を募集しています。ごみ減量などの10項目の取り組みのうち、4項目以上の活動を行っている事業者のみなさんはぜひ、認定申請をしましょう。

認定を受けると、HPワケルネットで紹介するほか、仙台市の各種広報でPRをいたします。

Step 1

### 認定申請

所定の申請書を手入(申請書はワケルネットからダウンロード可)  
環境配慮型店舗・事業所認定委員会へ提出(申請書随時受付/郵送可)

Step 2

### 認定審査

環境配慮型店舗・事業所認定委員会での審査(委員会は年5回程度開催)  
認定期間は3年間

Step 3

### 認定広報

委員会より認定証とシンボルマーク入りステッカーを送付  
ステッカー等の掲出(マーク画像を名刺等に印刷可)

## 仙台市環境配慮型店舗・事業所認定委員会事務局

(仙台市環境局リサイクル推進課内)

〒980-0811 仙台市青葉区一番町4-7-17 小田急仙台ビル10F

TEL 022-214-8230 FAX 022-214-8840

ワケルネット▶▶<http://www.gomi100.com>